

令和7年11月30日執行

埼玉県議会議員補欠選挙公報(東第8区 越谷市)

(選挙すべき議員の数：2人)
埼玉県選挙管理委員会

～もっと豊かで快適な埼玉・越谷～
活力みなぎる県政に。

突破力



元 埼玉県庁 職員
元 日本政策金融公庫 職員
“橋本けんと”の政策ビジョン



はしもと
橋本けんと
35歳

“県民の命・暮らし・財産”を守る

近年、豪雨や大規模地震等の自然災害が頻発しており、災害への備えは全ての県民にとって最も切実な課題の一つです。将来起こり得る自然災害の最小化に全力で取り組むことで、“県民の命・暮らし・財産”を守ります。

私は、埼玉県庁にて新型コロナウイルスワクチンの接種促進や新型コロナウイルス感染症に係る診療・検査体制の確保、日本政策金融公庫にて東日本大震災で被災した中小企業の支援などに携わってきました。これらの検討・実施で培った経験を存分に活かし、県議会議員として“県民の命・暮らし・財産”を守ります。

“活力あふれる社会・経済”をつくる

中小企業・小規模事業者は、日本経済・地域経済を支える大きな柱です。中小企業・小規模事業者の労働生産性等を上げて、その結果として県民の所得水準を持続的に向上させることで“活力あふれる社会”をつくります。

- 経済社会の変化に対応するために、思い切った事業再構築を支援します。
- デジタル・トランスフォーメーション（DX）を推進し、生産性向上を図ります。
- 越谷駅を中心に起業家支援のネットワークを構築し、地域経済の新たな担い手を創出・育成します。

“魅力ある越谷”をつくる

越谷市は、生活の利便性が高く発展し続けている一方で、今後、公共施設の老朽化などが進み再投資の必要性が増していくことが想定されます。

- 越谷レイクタウン駅の近くにレイクタウンアリーナ（仮称）を整備し、スポーツやイベント、防災の中核拠点としてさらなる発展を目指します。
- 南越谷駅・新越谷駅周辺はエリアの核である越谷サンシティを、音楽や芸術などの文化拠点、新たな賑わいや交流の拠点として、ホールと民間収益施設を一体的に整備します。
- 公共交通の今後のあり方については、渋滞の緩和など交通ネットワーク全体の最適化を図ります。

- 1990年（平成2年）3月生まれ 35歳 / 春日部高校、法政大学 法学部法律学科 卒
- 日本政策金融公庫、埼玉県庁勤務を経て、自民党の埼玉県議会議員補欠選挙候補予定者公募選考にて、自民党公認候補決定
- 趣味は水泳、スポーツ観戦 / 妻と長女（5歳）、次女（1歳）/ 2児の父、4人家族



私たちが推薦します

越谷市長 福田 晃

前越谷市長 高橋 努

越谷市議会議員 清水 泉

越谷市議会議員 大田 ちひろ

山田ゆう子プロフィール

▶1982年、横浜市生まれ、宮崎県宮崎市育ち。▶2011年の原発事故後、子どもを放射能から守る活動に関わったことがきっかけで政治に関心を持つ。▶2015年～2025年、越谷市議会議員を3期務める。▶2017年より地域の母親たちと子ども食堂の運営や居場所づくりに関わる。▶越谷市中町在住。高校生と中学生の子育て中。

女性のチカラで政治を変える「私らしく」輝ける社会へ

いのちを守る

- 県内の電気を可能な限り再生可能エネルギーで自給
- 循環型農業で自給率の向上をめざし埼玉の食と農を守る
- 中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクトの推進

子どもの権利

- 子どもの権利条例の活用で子どもが真ん中の社会へ
- 不登校の子どもと親に寄り添い多様な学びの場を支援
- 子ども食堂やフードパントリーなど地域と連携した居場所づくりの支援
- 障害のある子もない子と同じ教室で共に学ぶインクルーシブ教育の推進

共に生きる

- 子育て中でも、高齢でも、障害があっても、安心して生きられる
- 視覚や聴覚に障害のある方のコミュニケーション手段を拡充
- ケアラー支援条例に基づいた施策を県内自治体へ広げる

ジェンダー・人権・平和

- 性別を問わずパートナーと安心して暮らせる埼玉
- 意思決定の場に女性を増やす
- DVや性暴力被害者に寄り添った支援体制を強化
- 多文化共生のまちづくり
- 戦争する国づくりに反対し、埼玉から平和を守る

すべての女性が、何かを恐れたり我慢したりすることなく、自分の人生を自分で選択できる社会をつくらせていきたい。それは、すべての人がありのままに幸せになれる社会につながると思っています。私と一緒に、ジェンダーの視点で政治を変えていきましょう。



越谷市民ネットワーク

女性たちが立ち上げた、市民が運営する地域政党です。国政政党とのしがらみはありません。議員報酬の一部を活動費として使っています。



越谷市民ネットワーク

42歳

やまだ
山田ゆう子

地元の大野やすしを選んで「埼玉」と「越谷」を着実に活性化しよう!!

◆選ばれるまち『埼玉』と『越谷』を築く取組み

以下の7つについて、埼玉県東南部100万人を見据えた未来への投資と基盤整備の課題として、県政の立場からブレークスルーを検討し支援していきます。

- 1 南越谷のにぎわい創出と越谷サンシティ再整備の実現
- 2 越谷レイクタウン水辺のまちづくり構想の具体化
- 3 越谷駅北越谷駅周辺の、中心市街地再活性化策の検討推進
- 4 都市計画道路浦和野田線や東埼玉道路など道路網の整備促進
- 5 新たな調節池などの中川綾瀬川流域の総合的な治水対策の推進
- 6 県立大学の充実、市立病院経営支援など、医療介護福祉の体制、しくみづくりの強化
- 7 荻島産業団地、道の駅、越谷市場の再整備、(仮称)出羽公園駅、東武スカイツリーライン北越谷駅以北の高架化、老朽化した下水道の再構築など都市整備に関する懸案事項の検討推進

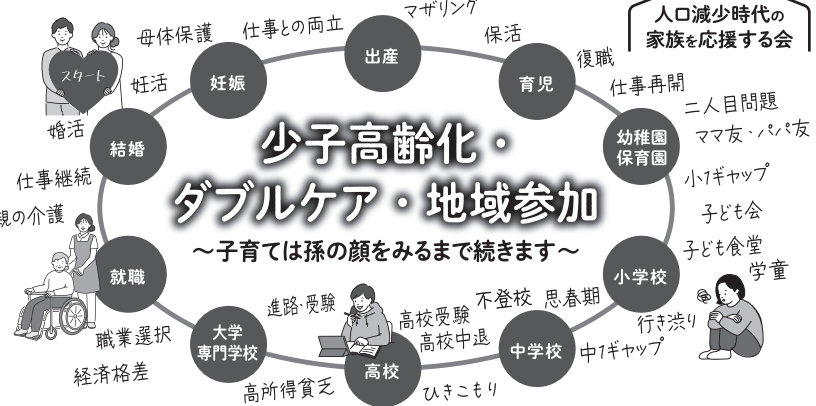
プロフィール

昭和38年8月7日 越谷生まれ越谷育ち
越谷くろみ幼稚園、越ヶ谷小学校、中央中学校、越ヶ谷高校、明治大学政経学部卒
東京都23年（建設・計画・分権・行革・防災など）勤務、2011年市議初当選以後当選3回、出羽地区子ども会育成連絡協議会会長、越谷市立中央中PTA会長

政治家 大野やすし
覚悟を持って、挑戦します!



子育てステージと家族の課題



◆共働き子育て家族応援の3つの方向

子育ては孫の顔をみるまで続きます。以下の3つの方向により様々な課題のハードルを下げ、乗り越えられるノウハウを地域の知恵として提供できるしくみづくりを進めていきます。

- 1 共働き子育て家族を社会全体で応援する体制を築く。
- 2 保育料、学費など教育費を支払う親の負担を軽減する経済的支援を導入する。
- 3 自己実現のみを追求する教育から家族や地域社会を支えつつ自己実現を両立する教育に方向転換を図る。

県政に向けて

これまでの課題に加え、子育て、教育、ダブルケア問題など、人口減少問題に越谷から立ち向かうとともに、人口減少でも「選ばれるまち」越谷を築くため、埼玉県東南部100万人を見据えた未来への投資と基盤整備を推進していきます。

人口減少に打ち勝つ社会

これまでの少子化への取組みを踏まえ、共に「人口減少時代の家族を応援する会」を令和5年1月に立ち上げ活動しています。

市議3期12年の取り組み

「新しく住む人も古くから住む人もともにふるさとと呼べる越谷」を目指し、3つの主張と経験から取り組む5つの施策を基に、市政の課題に取り組んできました。

HP

HP: <http://www.city.yokoyama.lg.jp/syasei>

5年後の目標

- 1 子ども・教育施策の推進
- 2 まちづくり・経済産業施策の展開
- 3 観光を通じた伝統・文化の活性化
- 4 高齢者危機管理施策の強化
- 5 行財政改革の徹底

3つの主張

- 1 誇りを持てるまち越谷を築く
- 2 しぶとい日本人再生を目指す
- 3 簡潔で効率的な行政体制を創りあげる

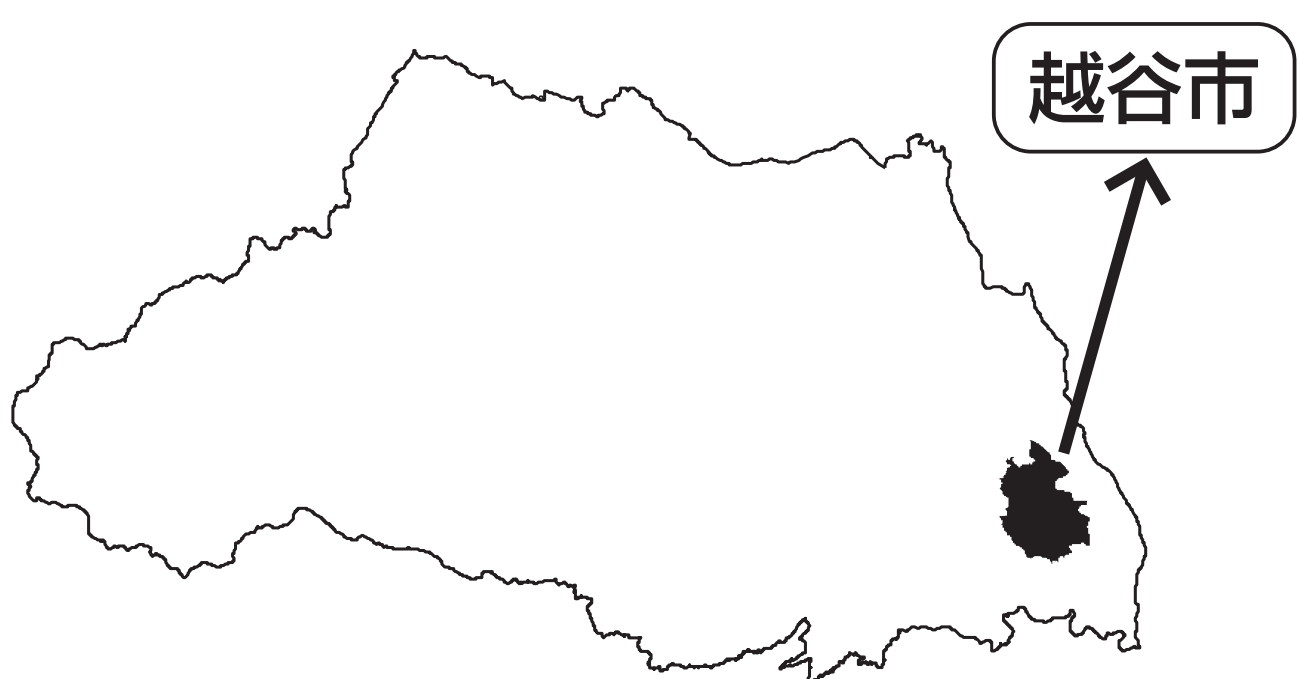
共働きで4人の子育て24年目

共働きで4人の子育て24年目。共働きで子育てを続ける方へ。政治チャレンジ!



無所属
大野やすし

東第8区 越谷市の選挙区域



18歳から投票できます。

埼玉県地図

11月30日(日)は投票日

大切にしましょう。あなたの一票!

埼玉県選挙管理委員会では、選挙速報をホームページで公表します。

埼玉 県議補選

検索



埼玉県選挙管理委員会

令和7年11月30日執行

埼玉県議会議員補欠選挙公報(東第8区 越谷市)

(選挙すべき議員の数：2人)
埼玉県選挙管理委員会自民・維新の
高市政権から

市民のいのち・暮らしを守る!

なえむら
京子
日本共産党

物価が毎日のように上がり続け、「買い物に行くのが怖い」との声があがっているときに、埼玉県政に求められているのは、こうした声に応えることではないでしょうか。

市民のくらしを守るためにために力いっぱいがんばります。

物価高対策と賃上げでくらしを守る

◆上・下水道料金は値上げではなく値下げを◆消費税は当面5%に減税

◆学校給食費の無償化◆賃上げ対策の推進

国保・介護保険など負担軽減でいのちを守る

◆国保税、介護保険料、後期高齢者医療保険料などの値上げをやめさせ、負担軽減◆県立大学に医学部設置◆県立高校へのエアコン設置など

猛暑対策

水害対策などくらしを守る

◆中川・綾瀬川・元荒川・新方川などの河川整備◆県道の冠水対策など水害対策の推進◆公共交通への補助・支援の拡充◆道路・歩道への夜間照明を増設◆中小業者・農業者支援の充実

ジェンダー平等の推進・外国人差別や憲法改悪は断固反対

消費税減税を実現! 平和で差別のない埼玉・越谷を…日本共産党

●1959年東京都生まれ●麹町女子高等学校卒
●三郷市議6期●埼玉東部南地区委員長

石川たかみ プロフィール

1964年(昭和39年)12月生まれ/60歳
埼玉県立熊谷女子高等学校卒、
国立埼玉大学教育学部卒
1987年 行田市役所入庁～
副会計管理者、市立図書館長、
教育委員会次長を歴任し、
2019年 行田市副市長、2022年 退任

元行田市副市長 行政書士
埼玉県カーレット協会会長
カーレット越谷クラブ会長

石川たかみのSNS フォローお願いします!



石川たかみ 5つの政策

遺志を継ぎ
越谷の声を→
→埼玉へつなぐ

無所属
石川
たかみ

奉仕の心をいつも胸に、
市民とともに歩む。
市民の声を力に、
行動で応える。
市民のために、
勇気をもって改革に挑む。
自然への感謝と敬意を
忘れずに。

①子育て・教育

共働き世帯の多い越谷で、待機児童の解消や放課後支援の充実を推進。教育格差の是正とデジタル教育の充実により、未来を担う子どもたちを地域全体で育てます。

②防災・安全

越谷は内陸水害や地震のリスクを抱える地域です。国・県・市で防災拠点や避難体制を強化。河川整備や情報伝達の迅速化を進め、安心して暮らせる地域を守ります。

③地域経済・雇用

中小企業や商店街を支え、デジタル化や脱炭素化を後押しするとともに、既存の商業エリアにおいて新たな商業・観光振興を県の支援策と結びつけ、地域に雇用と活力を生み出します。

④福祉医療

高齢者の見守り体制強化、在宅医療と介護の連携、子育て支援の充実を進めます。障がいのある無にかかわらず安心して暮らせる地域づくりで、支え合いとめくもりのある埼玉を実現します。

⑤県と地域の連携

越谷の声を県政に、県の力を越谷へ。現場の課題に寄り添いながら、県民が誇りを持つ持続可能な埼玉を実現します。

東第8区 越谷市の選挙区域



18歳から投票できます。

埼玉県地図

11月30日(日)は投票日

大切にしましょう。
あなたの一票!

埼玉県選挙管理委員会では、選挙速報をホームページで公表します。

埼玉 県議補選

検索



埼玉県選挙管理委員会